

港合同

全国金属機械労働組合 港合同
 大阪市港区南市岡3・6・26
 TEL 06・6583・4858
 FAX 06・6583・4600

第87回港地域メーデーに結集しよう！ **STOP！戦争法 なくせ！貧困 壊憲許すな！原発再稼働阻止！**

四月初旬、各支部・分会、もちつき実行委員会、NPOみなどの各代表が参加してメーデー実行委員会を開催しました。

春闘も昌一金属支部が集結しましたが、分会関係は随時団体交渉が行われています。引き続き要求獲得に向けて頑張っていくきたいと考えています。

昨年は、戦後七〇年の節目の年でした。又、大阪市では「特別区設置に関する住民投票」の期間ということとまごいもあつたメーデーでした。

今年の第八七回港地域メーデーは日曜日です。

メーデーは労働者の日として、一八八六年五月一日にアメリカ合衆国のカナダ職能労働組合連盟（後のアメリカ労働総同盟（AFL））がシカゴを中心に、一日十二時間から十四時間労働が当たり前だった当時、「第一の八時間は仕事のために、第二の八時間は休息のために、残りの八時間は俺達の好きなことのために」を目標に、八時間労働制要求の統一ストライキを

行ったのが起源です。

一八八八年にAFLは引き続き八時間労働請求のため、一八九〇年五月一日にゼネラル・ストライキを行うことを決定しました。AFL会長サミュエル・ゴンパースは、一八八九年の第二インターナショナル創立大会で、AFLのゼネスト実施に合せて労働者の国際的連帯としてデモを行うことを要請し、これが決議され、ヨーロッパ各国やアメリカ等で第一回国際メーデーが実行されました。

以後も労働者の権利を主張する運動や、国民がその時々を掲げて、

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

団結と連帯の力を示す日として継続・発展してきました。

昨年、九月十九日、安保関連法（戦争法案）が国会で強行採決され、先月二十九日から施行されました。「自衛隊があらゆる事態に切れ目なく対応し、政府が「日本の平和と安全に重要な影響を与える事態」と認定すれば、地球上のどこでも米軍や他国軍に対し自衛隊による後方支援ができるようにする」というものです。

与党推薦の憲法学者が「違憲」と発言したことから大きな問題となりました。以来、老若男女が連日国会周辺を埋め、長

期間に亘る反対行動はこれまでになく運動となりました。大阪でも、自民党本部への抗議や、各ターミナルでの集会は、これまで経験した事のない盛り上がりとなりました。

安倍首相は任期中に憲法九条の改正を目論んでいます。憲法改正の先陣を切ろうとしているのが「おおさか維新の会」です。橋下市長が政界から引退したとはいえ、大きな影響力を持っています。安倍と橋下の関係は、大阪都構想に絡んで、一昨年末、公明党大阪府本部を飛び越えて創価学会との橋渡しを行い、公明党大阪府・大阪市議会の方

針を封じ込め、公明党大阪府・大阪市議団をして「都構想には反対だが住民投票には賛成する」という奇妙な方針を決め支持母体の創価学会は自主投票を決定しました。

結果、成立不可能と言われていた大阪市の分割を目的にした協定書を復活させ、その結果、五月十七日、初めての住民投票が行われ、僅差ながら反対派が勝利し、橋下市長の政界引退という事になりましたが、約八年間に及び、府知事・市長時代の負の遺産はあまりにも大きく、労働組合の活動を制約する「職員基本条例」「政治活動規制条

例」は今も残されたままであり、大きな足かせとなっています。

他、私たちを取り巻く課題はあまりにも多くあります。五年目を迎えた福島第一原発事故の放射能汚染、深刻な汚染水問題、原発再稼働問題、辺野古新基地建設問題は、裁判が行われていましたが、判決を前にして、和解が成立し、工事の中止がされましたが、根本的に建設を諦めたものではなく、引き続きの闘いが求められます。

今メーデーを機に、改憲・戦争と労働法制大改悪阻止へ、団結を強化・拡大して闘っていく！